



Title	特殊講義案 都市と村落
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1966
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/77351">http://hdl.handle.net/2115/77351</a>
Type	manuscript
Note	資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した）
File Information	N044_01.pdf



[Instructions for use](#)

NOTE BOOK

特殊講義案  
都市と村落  
四

以上述べた通りにより都市住民が形成して  
片の集団が如何なる規模のものを形成する  
明かいたると思ふ。

一 世帯

二 地区集団

三 職域集団及び学校及公衆庭

四 生活協進諸団体

五 法の集團の甲都市住民が正當なる

生活のみに依存的に加入するに必要とする

此のほ世帯及び職域集団の間に存在する

他は其性質上不生動的加入のしよからず

七 生活の上の重要なるものを一つとして保存

日名の  
定章

昨日の二十一日の清純後活潑である。

新時代の横日表三節 新後の清純

村落の秩序と地運 <sup>集団</sup> は、実上不任者加入

とある。甚しく他人を制し得る。近隣集

団、血の集団、宗族社会、清中集団や

若同知宗集団の中心は、此種集団によるもの。

それ等の集団は村人との加入し

るに拒み、或る程度上は、排斥するものがある。

その支配は、漸く可及的である。都市に於ては、

の集団は、存して居るが、他人の加入は、強

い。氏神の祭典、豊作の禱、其の類は、一人

の集団。生活協会の集団は、成員は自由参加である。

生活協会の集団は、多くは職域集団の

成り、或る程度、職域集団を多数派とする。

に包庇して居るが、それ等職域集団は  
それ程巨大な力をもつて居るの故に能く  
の生活協業集団を整理して居る。村長  
が生活のありやうを顧みず、機軸の根本  
固をその内面に包んで居るを同じ好む都  
市ではこの職域集団が各種の権威集  
団を育成して居るが、その如き巨大なる  
職域社会は村長が生活者同僚を云ふ  
と同じ意味に於いては生活者同僚を形成し  
て居る。組合の如きからしては職域  
集団は上の如き一つの生活共同体を形成  
して居る。そこに階層的社会的関係が同

知事さんより北なるふるまの巨大化。マスマシロシケールン

竹ん布して片よりは明かすよが、吾人は  
今職域を一つの集団として務めるに在る  
こゝろを確立して片よ、

科習の力は技術の進歩を来し巨大企  
業体の拡張は念へた方々なり其措成  
す。幸同此方も念、多々技能を持た

其の活知も整理して行くとも考へるよ。  
人は比た可能な企業体の内へ念、民を代  
して行くか念の奴隷化して行くか、何れにして

此の後の大都市の住民がかかる如き  
巨大な  
企業体の発展の方向如何によつて行く  
支那配るよ、片よはゆ、系ごき。



済の組織に形を替へて置くべきであらう。昔

同士の組織を築く事である。

何れにしても、現在より都市は大々格の

職域兵團を形成し、並置し、市民は

各々、何れかの職域兵團に所属し、互に

争ひを起し、争ひを起す事にして片よ。

かくの如き職域兵團のありしは打たん

ぬ、おれを共同体的集團をなして片よ。

し又或るものは、知覚、打撃、<sup>に</sup>整る

的協力に止る。此をを、片よの支

と云ふ。何れにしてもかくの如き職域兵

団を互に併置し、互に打たぬ都市



★ 大町の

その後の職権集団は都市市民を主とする

その後の収容し並に<sup>社会的</sup>な権を行使する

相互の又合併としての統一の組織は

どうなるか<sup>都市の</sup>統一の組織は

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

の独立な都市の自治体は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

何人七層百三層力 皆為すべし

この地区集団は生活協同体

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

職権集団の統一の組織は<sup>都市の</sup>中世

④ ように三つには有りて片在り。



おるには市民の進歩の生活の統制の必要あり  
...自治の相見あり。然し都市は道徳的文化  
...市民は自治の進歩の生活の統制の必要あり  
...自治の相見あり。然し都市は道徳的文化

⊕

その三つは自然として社会の自然の統一  
...自治の相見あり。然し都市は道徳的文化  
...市民は自治の進歩の生活の統制の必要あり  
...自治の相見あり。然し都市は道徳的文化



個人や集団

大倉の作の幹事が市会を牛首と云ふ所  
其れは外口のホスル市政

(十) 都市政治は年々と来らるるその事を  
掌るべき人が、市民も其れを自ら行ふ所  
的なる一作は、市を動かすが或る。其れ  
の自作を、其の市民の生活を、市の政治  
をもつて、市を動かす。

其れは都市の市政を運ぶ所、市会も其れつて、市

のりと、全市人に四百一人、市の中

其れは、市の政治を、市の中

十二人、市の政治を、市の中

此れは、市の政治を、市の中

その、市の政治を、市の中

の、市の政治を、市の中

戸、市の政治を、市の中

と、市の政治を、市の中

と、市の政治を、市の中

札幌市は土地運搬機械等の財産を、市の中

井

自然的地域的経済の統一と

この、市の中、市の中、市の中

其れは、市の中、市の中、市の中

然し、市の中、市の中、市の中

都市、市の中、市の中、市の中

其れは、市の中、市の中、市の中

は、市の中

一市民一人より約五ヶ月である。五人家族の  
 一市民は法改正一才五ヶ月の財産を所有して  
 片の財産は約五ヶ月の財産を所有して  
 か。財産は約五ヶ月の財産を所有して  
 生活の内を専らに法改正一才五ヶ月の財産を  
 所有の財産は約五ヶ月の財産を所有して  
 した。生活は約五ヶ月の財産を所有して  
 のくは約五ヶ月の財産を所有して

中にもは都市の自治に於ける政令や  
 のおくれは都市の自治に於ける政令や  
 二片は都市の自治に於ける政令や  
 と同様にして是を法改正一才五ヶ月の  
 の財産は約五ヶ月の財産を所有して

政令や都市の自治に於ける政令を構成して  
 片の財産は約五ヶ月の財産を所有して  
 した。生活は約五ヶ月の財産を所有して